

第1回茨木市文化芸術推進市民会議(結果のお知らせ)

1 目的

この市民会議は、文化振興ビジョンの推進に当たり、市民、文化芸術関係団体、大学、商工会議所、観光協会、文化振興財団から、市の文化振興に関する様々な意見やアイデアを得て、今後の文化施策の参考とするとともに、市民及び関係団体等の連携・交流を図ることを目的としています。

第1回は、

◇みなさんの交流、つながりを深める

◇「文化振興ビジョン（平成27年3月策定）」を知る

ということを目的として、ワークショップを開催しました。

2 日時 平成27年7月31日（金） 午後1時30分～3時30分

3 場所 茨木市役所 南館8階中会議室

4 参加者・参加団体（23名）

公募市民、日本盆栽協会茨木支部、茨木三曲協会、茨木市舞踊協会、茨木市合唱連盟、茨木美術協会、茨木市音楽芸術協会、茨木市謡曲連合会、オワゾリール会、茨木市文化財愛護会、茨木市詩吟連盟、茨木市民謡民舞同好連盟、茨木市少年少女合唱団、茨木市民文化の会、追手門学院大学、梅花女子大学、立命館大学、茨木商工会議所、（公財）茨木市文化振興財団、（一社）茨木市観光協会、茨木市（まち魅力発信課、社会教育振興課）

5 傍聴人 2人

6 会議の進め方 ワークショップ形式（4グループ）

7 進行役（ファシリテーター） 市民文化部文化振興課長代理 庄田

8 内容

開会

茨木市市民文化部長の挨拶で市民会議がはじまりました。

ワークショップの説明

冒頭、進行役からワークショップについて説明しました。



グループ内での自己紹介

まず、はじめに参加者は4つの班に分かれてグループを纏めて進行するリーダーを中心に「わたしと文化」というキーワードで自己紹介を行いました。最初は緊張していたみなさんも自己紹介が進むにつれ、緊張もほぐれ、各グループ内の話は段々、盛りあがりました。



テーマ “文化を感じるのはどんなとき？”



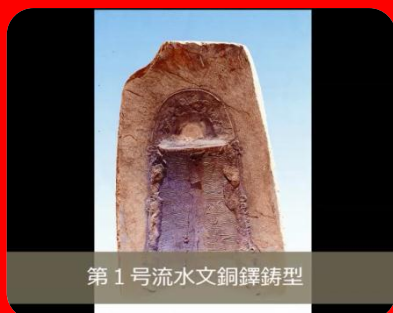
“文化を感じるのはどんなとき？”というテーマで各グループのみなさんで意見を出し合い、グループの代表者が発表しました。

主な意見は以下のとおりでした。

- 茨木市は住みやすい、便利、公園などの空間、景観
 - 伝統文化、茨木童子、川端康成
 - うど、寒天などの特産品、食
- 歴史の動きのなかで、大きな流れのなかで
- 神社の茶会や祭、舞台、発表会、芸能、音楽
 - 街なかでのダブルダッチ
- 葬儀、マナー、服装、モラル、人柄
- 歴史、風土、城、寺社、地蔵、古墳

市の文化振興に関する取組ということで、主な文化事業の紹介動画をみました。

以下は動画の一コマをピックアップしたものです。



第1号流水文銅鑄型



茨木市の文化振興に関する取組



第165回公演

スーパーライブ! 大阪市音楽団



祖父母と暮らした屋敷の模型

彫刻設置

主な市の文化振興の取組等について
紹介しました。

ありがとうございました。

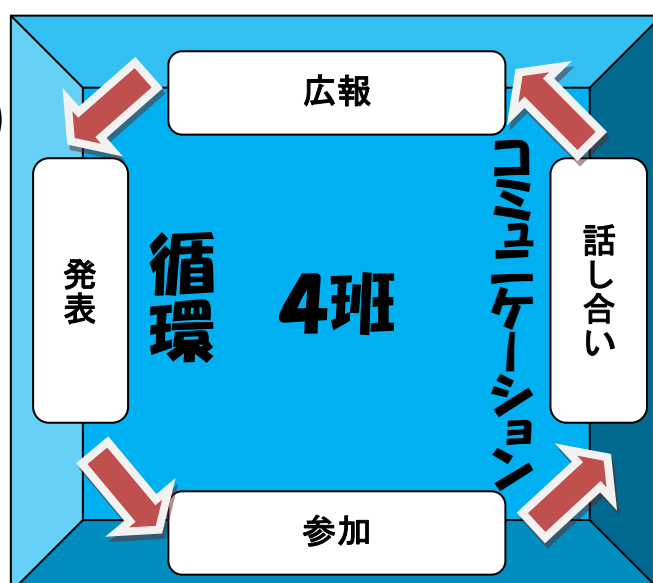
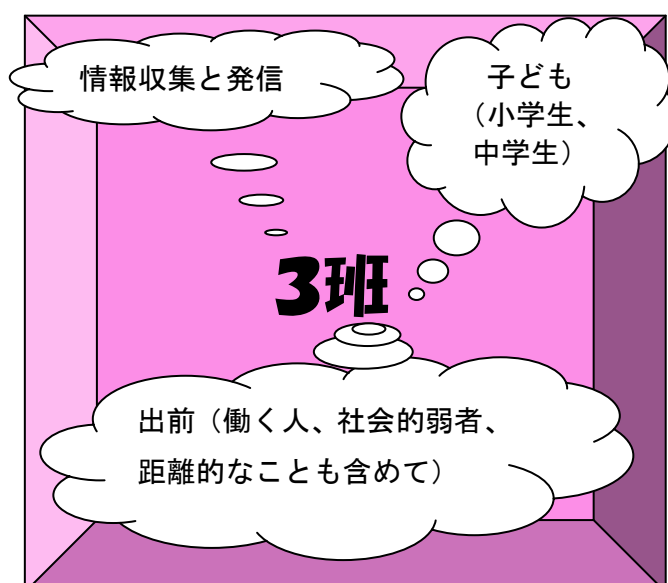
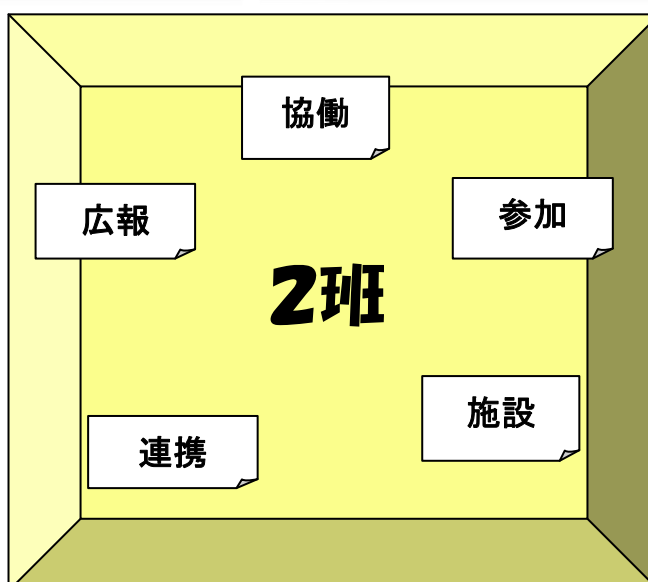
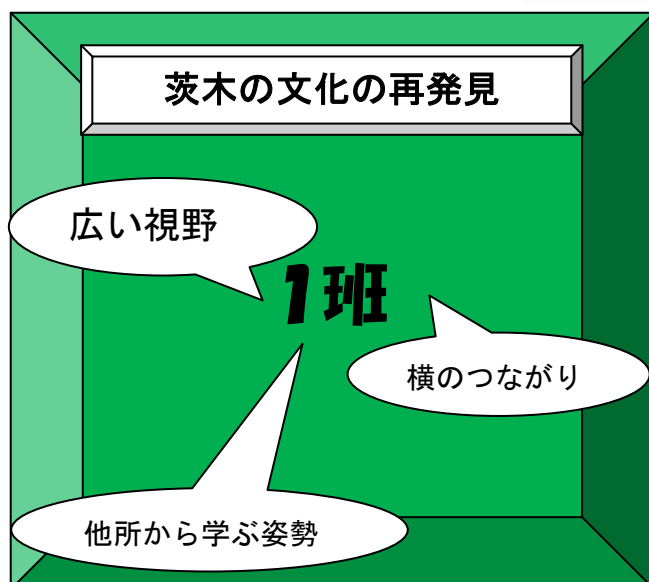


テーマ “文化を身近なものにするためには？”

次に“文化を身近なものにするためには？”というテーマで話し合いました。

各グループで話し合った意見を模造紙に纏めて、発表を行いました。

各グループの発表概要は以下のとおりでした。



平成27年3月に策定した茨木市文化振興ビジョンの概要について説明しました。

みなさんの話し合いのなかで出てきたキーワードは、ビジョンのなかにも盛り込まれていました。例えば、最初のテーマ“文化を感じるのはどんなとき？”では、「伝統文化」「茨木童子」「川端康成」「歴史」「芸能」「音楽」などがありました。

また、テーマ“文化を身近なものにするためには？”では、「広報」「情報発信」「連携」「協働」などがビジョンのキーワードとなっていました。

本日は、ワークショップという形をとり、グループで話し合う機会を持つことにより第一の目的であった「みなさんの交流」は達成できたと思います。この「つながり」、「連携」はこれからも深めていければと思います。二つ目の「文化振興ビジョンについて知る」という目的についても達成できました。

第2回の市民会議開催は、11月を予定しています。今後は、文化振興ビジョンを推進するために「できること」など、少しずつ深めていければと考えています。文化振興ビジョンの内容を確認いただき、次回の会議に参加いただければと思います。

ありがとうございました。



ワークショップの様子

